

横浜市幸ヶ谷公園コミュニティハウス 指定管理者事業計画書													
申込年月日 令和3年6月25日													
ふりがな 団体名	とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ(認定NPO法人)												
代表者名	理事長 関 口 芳	設立年月日	平成17年5月9日										
団体所在地	横浜市神奈川区幸ヶ谷4番地												
電話番号	045-441-1230	FAX 番号	045-441-1233										
沿革 ・ 設立の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年5月9日 神奈川県特定非営利活動法人認証第1341号法人認証及び法人登記 ・平成18年4月1日 神大寺地区センター・神奈川地区センター・神之木地区センター・菅田地区センター・幸ヶ谷公園コミュニティハウス・老人福祉センター横浜市うらしま荘・神大寺中央公園こどもログハウス・浦島丘中学校コミュニティハウス・六角橋中学校コミュニティハウス・神奈川中学校コミュニティハウス等指定管理者7施設、受託3施設の運営管理が始まり、現在に至る。 ・平成18年10月 神奈川区民まつりに出店し、現在に至る。 ・平成21年11月 横浜市歴史博物館と共催し「神奈川宿歴史講座」を開講する。また法人として同博物館開催の「江戸時代の神奈川」に協力する。 ・平成22年1月 こども青少年局の「青少年地域拠点づくり」に協力する(神大寺地区センター)。 ・平成24年4月1日 神奈川公会堂の運営が始まり、現在に至る。 ・平成25年から26年 横浜市商店街空き店舗活用アンテナショップ事業として大口通商店街にて「大口にぎわい広場」を開店する。その後大口通商店街の振興を図るため「まちなかほっとサロン」を大口通商店街組合から受託し、開店させる。 ・平成27年6月5日 横浜市から指定NPO法人の指定を受ける。(至平成31年6月30日) ・平成28年3月1日 小学校放課後キッズクラブの運営を始め、現在に至る(神奈川区斎藤分小学校・鶴見区下末吉小学校・港南区芹が谷南小学校) ・平成29年3月1日 神奈川区神奈川小学校・二谷小学校放課後キッズクラブの運営を始め、現在に至る。 ・平成30年 認定NPO法人取得 												
業務内容	次に掲げる事業を行っています。 <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 青少年の健全育成に係わる事業</td> <td style="width: 50%;">2 子育て支援に係わる事業</td> </tr> <tr> <td>3 地域コミュニティの醸成に係わる事業</td> <td>4 年代別の健康増進に係わる事業</td> </tr> <tr> <td>5 男女共同参画型社会の促進を図るための援助事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6 現代的課題に係る事業</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">7 上記事業を実施する地区センター、老人福祉施設、集会所、スポーツ会館、コミュニティハウス、ログハウス等の管理運営</td> </tr> </table>			1 青少年の健全育成に係わる事業	2 子育て支援に係わる事業	3 地域コミュニティの醸成に係わる事業	4 年代別の健康増進に係わる事業	5 男女共同参画型社会の促進を図るための援助事業		6 現代的課題に係る事業		7 上記事業を実施する地区センター、老人福祉施設、集会所、スポーツ会館、コミュニティハウス、ログハウス等の管理運営	
1 青少年の健全育成に係わる事業	2 子育て支援に係わる事業												
3 地域コミュニティの醸成に係わる事業	4 年代別の健康増進に係わる事業												
5 男女共同参画型社会の促進を図るための援助事業													
6 現代的課題に係る事業													
7 上記事業を実施する地区センター、老人福祉施設、集会所、スポーツ会館、コミュニティハウス、ログハウス等の管理運営													
担当者 連絡先	氏名	所 属											
	電 話	045-441-1230	FAX 045-441-1233										
	E-mail												

(1) 応募団体に関すること

- ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
- イ 応募団体の業務における幸ヶ谷公園コミュニティハウス指定管理業務の位置づけ
- ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

経営方針

住み続けたい「まち」にある施設の運営をとおして、地域力の向上に貢献します。

- ①私たちは「安全・安心・公平・公正・快適」な施設運営を通して「学びの場」「いこいの場」「ふれあいの場」を提供し、地域で愛され続ける施設を実現します。
- ②私たちは、少子高齢化や核家族化などの社会環境の変化に伴う地域ニーズに沿った多種多様な事業を展開いたします。
- ③私たちは地域社会の発展と活性化を目指して「地域による地域のための地域起こし」に積極的に貢献します。

業務概要・主要業務・特色等

- ・地区センターを中心として、こどもログハウスから老人福祉センターまでを管理運営し、乳幼児から高齢者まで全世代の方々に生きがいやふれあいの場を提供しています。また青少年健全育成活動や子育て・健康増進事業などにも活動の場や情報を提供しており、地域社会の発展と活性化に貢献しています。
- ・平成 27 年から平成 30 年まで横浜市指定 NPO 法人の指定を受けました。その後その信用と確かな計画性、活動の公共性、継続性が認められ、平成 31 年には認定NPO法人を取得できました。
- ・施設間の連携にも積極的に取り組んでおり、私たちが運営・支援する施設間はもちろん、近隣の施設や神奈川県役所との間で、事業、イベントの共同開催や連続開催を行っております。

イ 応募団体の業務における幸ヶ谷公園コミュニティハウス指定管理業務の位置づけ

幸ヶ谷公園コミュニティハウスは平成11年に青少年図書館からの転換型コミュニティハウスとして開館されました。青少年図書館の伝統を受け継ぎ、蔵書数27,000冊を誇る図書コーナー、静かに勉強のできる学習室の環境を守りながら、15年にわたり指定管理者として運営してまいりました。臨海部に林立する高層マンションへ若い世代が住むようになり、お話の部屋で行われる「おはなし会」に参加される乳幼児親子が年々増えてきており、住民サービスの向上に努めております。さらには近隣の小中学校の職場体験や地域清掃などの地域貢献とともに、託児サポーターの養成、各地域団体の利用促進など、地域の一員として地域と一体となって、「住み続けたいまちづくり」に貢献することが使命であり、重要な業務として位置付けております。

ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

現在管理運営している主な施設種別	施設数
地区センター	4施設
コミュニティハウス	転換型1施設／学校型3施設
老人福祉センター	1施設
公会堂	1施設
ログハウス	1施設
小学校放課後キッズクラブ	5施設

(2) 幸ヶ谷公園コミュニティハウス管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

ア 設置目的、区政運営上の位置付け

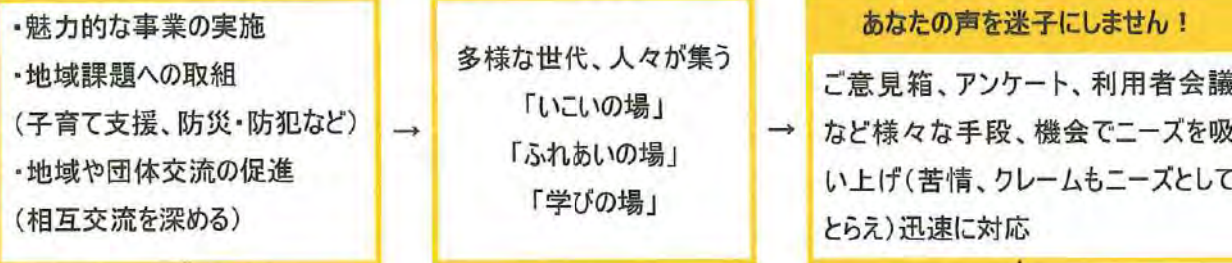
設置目的	地域住民の自主的な活動を促進し、相互交流を深められる場を提供する	区政運営方針	笑顔でつながる「神奈川区」 ～地域の皆様とともに、安心して温かい 元気なまちづくりを進めます～
------	----------------------------------	--------	-------------------------------------------------------

設置目的、区政運営方針を踏まえ、以下を運営方針に掲げます

1. 地域特性、地域ニーズを踏まえ、来館された方が誰でも居心地よく滞在できる施設を目指します。
2. 公の施設としての認識のもと、公共性や公益性を維持し安全安心で公平公正な運営を行います。
3. 自主的な活動のきっかけづくりとして、魅力的でバリエーション豊かな事業を展開していきます。

イ 地域特性、地域ニーズ

神奈川宿歴史の道や本覚寺、甚行寺、成仏時など横浜開港ゆかりのある寺院があり、文化の香り漂う地域として古くから栄えてきました。最近では臨海部に林立する高層マンションに若い世代の人々が住む一方、旧市街地である内陸部側では高齢化も進んできています。このような地域にある桜の名所として、権現山城址に名残を残す幸ヶ谷公園は親子連れや中高年齢層の方々に利用されています。伝統ある「幸ヶ谷風情」を守りながら、より多くの方々に幸ヶ谷公園コミュニティハウスを知ってご利用いただき、頂戴する多くのご意見を運営に反映してまいります。



ウ 公の施設としての管理

地域の人々が安全安心に、そして公平公正に利用できるよう、以下を重点に施設運営に取り組みます。

安全安心で快適な空間の確保

安全	・施設設備の適切な運営管理 ・事故防止(館内外巡視、救命救急、ヒヤリハット)	安心	・緊急時対応(自衛消防隊、賠償保険加入) ・個人情報の保護と人権に配慮した運営
快適	・明るく清潔 ・にこやかな対応 ・仲間が集い交流できる場所 ・体験できる場所		

公平公正な管理運営の徹底

人にやさしいルール ・機会均等を保障する利用予約、参加申込制度 ・タイムリーな情報提供と情報収集のルール化	設備、サービスの充実 ・バリアフリー化、合理的配慮の提供 ・多種多様な世代、嗜好に合わせた事業の開催
↓ 公正なルール ↑ ルールの改正	↓ 設備などの充実 ↑ 設備、サービスの改善

- ・どなたにも公平な対応と、多様な利用者に合わせた案内、説明の実施
- ・発生した問題点と対応策を皆で共有、ルールや設備、サービスの改善へとフィードバックする

(3) 組織体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

ア 管理運営に必要な組織、人員体制

組織、人員体制については、法人所管の近隣4地区センターでの実績を踏襲し、幸ヶ谷公園コミュニティハウスにおいても、安定的かつ確実な管理運営を実現します。

幸ヶ谷公園コミュニティハウス機能・組織図



【組織】

- 法人事務局や所管する周辺各施設が、連携して当施設を全面的にバックアップします。
- 法人に所属する専門家の知見と経験により、発生する様々な問題、課題に対処します。
- 委員会、利用者会議でのご意見を反映させることにより、地域と利用者の方々と一緒に幸ヶ谷公園コミュニティハウスを運営していきます。
- 地元自治会・学校・各種団体・周辺施設と連携し、地域ニーズに合わせた施設をつくります。
- 神奈川県及び外部団体との連絡、情報交換については法人事務局が集約し、幸ヶ谷公園コミュニティハウス及び所管施設へ展開しますので、業務効率化、チェック機能強化が図れます。
- 近隣幸ヶ谷集会所との連携を強化し、室利用など補完関係にしていきたいと思います。

【人員体制と職務】

常勤	館長	1名	施設業務の統括管理 甲種防火管理者
	副館長	2名	館長補佐、庶務(スタッフ管理、事務全般)、事業(企画実施、広報)
時間給	スタッフ	6名	利用者対応、図書管理、貸出物品管理点検、施設維持

【勤務体制】

館長及び副館長は、週5勤2休(早番・遅番のローテーション)平均35時間勤務、1か月単位のシフト制による変形労働時間制とします。また、いずれかが原則として常勤し、責任ある体制を確保します。

スタッフは、午前・午後番(3名)・夜番(3名)をローテーション勤務とします。職員9名の内、徒歩圏内の職員を3名以上とし、非常事態においても駆けつけられるようにしますので、今後も地域の方々を採用します。

	8:45	9:00	12:45	13:00	17:00	17:15	21:00	21:15
常勤(早番)	早番(1名)							
常勤(遅番)			遅番(1名)					
スタッフ		午前番(1名)		午後番(1名)	夜番(1名)			

【職員の情報共有】

朝礼や勤務交替時の引き継ぎのほか、業務日誌や連絡ノートで情報の共有、状況把握を図ります。個々の管理運営業務についても、スタッフと常勤でダブルチェックすることで確実に遂行いたします。

(3) 組織体制

イ 個人情報保護等の体制・職員研修計画

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

【個人情報保護等の体制】

法令を遵守し、常に個人情報保護の重要性を念頭に置き、万全を期します。利用者だけでなく、地域の皆様、職員等すべての個人情報について配慮した取扱いを行います。

- 横浜市が定める「個人情報取扱特記事項」のほか、法人も必要な事項を「個人情報の保護に関する規程」「個人情報取扱実施細則」で定め、これらに従って対応します。
- 個人情報取扱実施細則に従い、館長が個人情報取扱責任者として責務を遂行します。
- 個人情報の収集は必要最低限にとどめ、本人の同意がない限り、使用目的以外で利用しません。また、第三者にも提供しません。利用申込書など個人情報を収集する文面においても、この旨を掲載し、個人情報保護の取組みが利用者にも伝わるようにします。
- 個人情報の漏洩防止策として次の対策を徹底します。
 - ◎ 個人所有メモリーカード等(USBカードその他記憶媒体)の持込み・持出しの厳禁
 - ◎ 個人情報が記載された申込書等の施錠管理と不要になった個人情報のシュレッダー処分を徹底
 - ◎ 使用するパソコンのパスワードログイン徹底とアクセス権の制限
 - ◎ 第三者評価時に指摘された受付パソコンにプライバシーフィルターを取り付け、個人情報漏えい防止を強化
- 全職員が年1回以上「個人情報保護研修」を受講し、「個人情報保護に関する誓約書」を横浜市長宛に提出します。また毎月開催する全体ミーティングにてヒヤリハット事例の共有など啓発に努めます。
- 万が一、当施設で扱う個人情報が漏洩した場合、館長が速やかに神奈川区役所と法人事務局、関係部門に報告し、迅速かつ適切な対応を行い、原因を究明し、再発の防止に努めます。

【職員研修計画】

職員は、利用者や地域のニーズを的確に把握し、サービスや事業の内容を充実させ、利用者満足度の向上を図る努力が必要になります。また、緊急時に適切な対応ができるよう、日頃から準備し訓練することが必要です。そのため法人の作成した研修計画に従い、下表の研修へ積極的に参加していきます。

	法人全体研修	施設個別研修
内部研修	新規採用者実務研修(コンプライアンス研修、地域を歩き地域を知る研修) 個人情報保護研修、経理研修、館長・副館長研修、自主事業研修 接遇マナー研修、認知症サポーター養成講座、人権啓発研修	新任研修、実務研修 避難訓練、歴史研修 全体ミーティング
外部研修	普通救命講習、神奈川区人権研修、施設管理者研修、生涯学習研修 感染症対策講座、公共建築物保全研修、ごみゼロ推進委員研修	防災訓練 個別技術講座

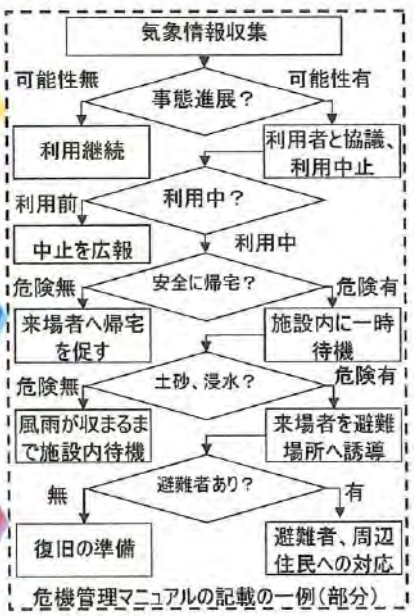
- 新規採用者については法人・施設の基本を知るために、年度初めに研修を実施します。その後も定期的な研修受講で業務のスキルアップを図ります。さらに各施設の事情に応じた備品や設備の取扱等に関する研修を実施し、利用者サービスの向上に努めます。
- 研修は法人内部のみでなく外部の機関や講師とも連携して実施します。横浜市、神奈川区や外部団体が開催する研修にも積極的に参加することで、世の中の標準や最新情報を取り込んでいきます。
- 毎月開催する全体ミーティングで、日常業務での疑問点や改善点を全員で話し合い、全員が共通理解して運営できるように努めます。また一部の職員が受講した研修については、受講した職員が講師になって施設内へ展開、得られた知識と技術を全員が業務に活かせるよう取り組みます。さらに神奈川宿歴史の道に立地していることから、職員が簡単なガイドが務められるよう研修します。

(3) 組織体制
ウ 緊急時の体制と対応計画

ウ 緊急時の体制と対応計画

【横浜市防災計画・神奈川区防災計画に基づく対応】

- 緊急時には「幸ヶ谷公園コミュニティハウス 危機管理マニュアル」に従って、どのような場合でも、あわてず適切に対応できるよう、訓練と研修を計画的に実施します。
- 緊急事態が発生した場合は、出勤の職員全員でマニュアルに従って各自の役割(通報連絡・避難誘導・応急救護・初期消火)を果たし、利用者と職員の安全を確保して被害を防止、あるいは最小限にします。
- 特に緊急事態の未然防止と、被害の最小化については以下の準備と対策を行い、その内容も危機管理マニュアルの「平時・予防編」に盛り込みます。訓練などで明らかになった問題点、事件事事故例、ヒヤリハット事例は法人本部、他施設と情報共有するとともに、検討した対応策を危機管理マニュアルへ反映します。



危機管理マニュアルの記載の一例(部分)

【火災・地震・その他自然災害への対応】

- 神奈川消防署の協力を得て、年2回の避難訓練・自衛消防隊活動訓練を実施します。また地域防災拠点である幸ヶ谷小学校内での防災訓練に参加し、地域と連携した体制を作ります。さらに町内会自治会とも連携し、地域の方々の参加をいただき、合同の避難訓練を行います。
- 横浜市防災情報(警報や交通情報)を必要に応じて利用者へ案内し、注意を喚起します。
- 法人職員及び帰宅困難利用者用の非常食(70缶)・飲料水(100本)・アルミブランケット(70個)・簡易トイレ(70個)を備蓄しています。また徒歩圏内に居住する常勤職員を配置します。

【事件・事故・犯罪の予防】

- 館内では職員による笑顔とあいさつ(声がけ)で、不測の事態を予防するように努め、「こども110番連絡場所」の看板を掲げ、警察へ定期的な巡回を依頼します。
- 地域の方々と協力して夜間町内パトロールを実施し、周辺地域の防犯に取り組みます。
- 危機管理マニュアルに従って、1日3回(午前・午後・夜間)館内外の見回り、また危険物・障害物・各種設備を点検し、安全の確保に努めます。
- 施設損害賠償保険への加入や防犯カメラ、カラーボールなど防犯備品の整備といった対策を講じています。
- 防犯カメラを2台設置し、万が一の時のために備えています。

【急病人等への対応】

- 神奈川消防署の協力を仰ぎ、全職員が普通救命講習を受講し、通報とAEDや担架の扱い方、応急手当の方法などを、また、感染症対策講習により汚物処理キットの取扱方法を学び備えます。
- インフルエンザ発生状況を把握するため、近隣小中学校と最新情報を交換し、流行に対処します。

(4) 施設の運営計画

- ア 設置理念を実現する運営内容
- イ 利用促進策

ア 設置理念を実現する運営内容

魅力的な事業を開催、人々の生きがいを育み、自主自立的な活動を支えます

人々の出会いや活動のきっかけとなる多様な事業を開催します。これらの事業をスタートラインとして、地域の方々による自主的な活動へつなげていくことが私たちの目指すところです。

地域課題にもしっかり取り組み、人々の絆や地域連帯を強めます

神奈川区内で活動している子育てグループへの情報提供や活動場所の提供を行うほか、地域の多様な人々とネットワークを構築、防災・防犯・高齢者支援・子育て支援などに協力し、人々の絆や地域連帯を強めます。地域の方々で構成される団体へ活動の場を提供し、一緒に地域課題の解決に取り組みたいと考えています。

地域交流と団体交流を促進し、地域の方々と一緒に施設運営に取り組みます

施設の運営には地域の方々や関係する施設・団体との連携が欠かせません。法人所管の近隣施設においても、地域の方々により構成される様々な団体、学校、関連施設と協力して運営に取り組んでおり、またそれらの団体が交流する場、機会を提供しています。近隣の施設、学校とのネットワークも構築されておりますので、そこから得られた情報も活用して幸ヶ谷公園コミュニティハウスの運営に取り組みます。

ひとりひとりを大切にします

たった一人のご要望でも可能な限り応えます。一人でも来館しやすい学びやすい雰囲気作りに努めます。さらにコロナウイルス禍の社会ニーズに対応し、「おはなしの部屋」を自宅の書斎代わりに開放します。

イ 利用促進策

以下の利用促進策を実施し、利用者数も1%増とし、5年後の2026年度には年間利用者数47,790人を達成いたします。

自主事業	魅力的な自主事業を開催、多くの方々に参加いただくことで、利用を促進します ・施設連携事業 ・地域連携 ・青少年健全育成 ・趣味探し ・子育て支援 ・健康増進
サービス向上	様々な領域で利用者サービス向上に取り組みます ・神奈川区内のスケールメリットを活かしたサービス向上 ・備品・設備、制度面の充実 ・地域団体への利用促進及び減免
利用団体への支援	幸ヶ谷公園コミュニティハウスを利用される団体へ様々な支援を行います ・広報誌への会員募集の掲載 ・講師の紹介、他団体との連携支援 ・利用者会議をジャンル毎に開催し、きめ細かにニーズを把握 ・利用者団体主催の講座の開講、会員募集の支援
広報	幸ヶ谷公園コミュニティハウスの存在、事業をより知っていただくため法人をあげての広報を行います ・法人ホームページ、広報誌発行と周辺町内会への回覧及び近隣小学校への配布、また所管全施設でのチラシ等配布、掲示をします。
地域連携	幸ヶ谷・青木地区との連携強化に努めます ・地域の広報を法人ホームページにも掲載することで、有事の際には情報の発信及び情報の共有が可能となり、地域になくてはならない施設として機能します。

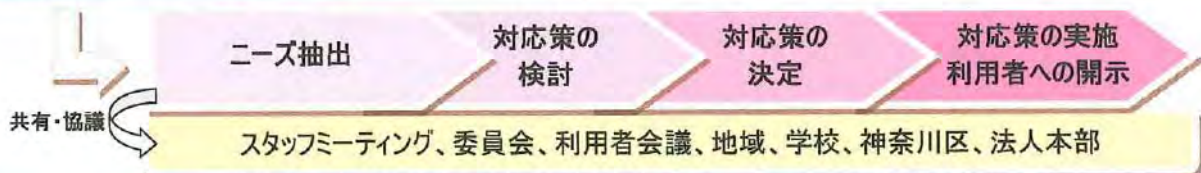
(4) 施設の運営計画

- ウ 利用者ニーズの把握と運営への反映
- エ 利用者サービス向上の取組

Ⅰ 利用者ニーズの把握と運営への反映

以下のように様々な手段でご意見を収集し、ニーズを抽出、関係部門と協議のうえ対応策を検討、施設の運営に反映します。苦情やクレームに対しては、その中にこそニーズがあると捉え迅速に対応、早期の収束に努めます。

アンケートの実施 ・利用者アンケート(年2回) ・小中学生アンケート(年1回) ・自主事業参加者アンケート(随時)	利用者・地域へのヒヤリング ・幸ヶ谷公園コミュニティハウス委員会 ・利用者会議 ・地元自治会町内会の会合及び行事への参加時
常時受付 ・ご意見箱 ・ホームページでのお問合せフォーム	日頃の利用者対応より ・利用者からいただいた意見を聞き漏らさない



オ 利用者サービス向上の取組

神奈川県内のスケールメリットを活かしたサービス向上

- 貸出図書は所管する地区センター、公会堂、学校型コミュニティハウスで返却を可能としています。
- イベントを所管施設と共同開催や連続開催しています。タイムリーなテーマの講座や他施設で開催されるイベントに参加することで、利用者の活動が広がります。
- 長年にわたって地域で施設運営を行ってきた実績により、自販機バンダーや近隣企業から数多くの協賛品をいただいております。イベント開催時にこれらの協賛品を来場者へ提供しています。
- 幸ヶ谷公園コミュニティハウスのホームページは、法人のホームページに一括して構築しており、ネット予約を可能とし、部屋予約の利便性を向上します。

備品・設備、制度面の充実

- 子ども向けの絵本を中心に蔵書を大幅に増やします。年末年始は貸出冊数を 12 冊に増やしています。
- Wi-Fi を付帯している自動販売機を導入し、ロビー等で無線 LAN を自由に利用できるようにします。
- コロナウイルス禍の社会ニーズに対応し、「おはなしの部屋」を自宅の書斎代わりに開放します。

地域団体への利用促進及び減免

- 保護司の面談場所、子育てサポートシステムご利用の方々に優先予約で開放いたします。
- 認定 NPO 法人として、地域団体及び利用者に対する地域活動への助言、相談を行います。そのためにも職員全員が地域を歩き、商店街・地域団体・神社仏閣などの地域財産を知ることにより、地域から愛される施設運営ができるよう、地域の一員として活動してまいります。
- 幸ヶ谷公園においては、公園愛護会とともに、また地域の小学校や保育園、されに来館される乳幼児親子の方々と一緒に桜の手入れ、花壇の手入れを行い、「桜を守り隊」として活動をします。清掃後はお部屋を開放し、新たな交流を育みます。
- 年末には利用団体と一緒に大掃除を行い、終了後には利用者会議を開催し利用団体の交流に努めます。

(4) 施設の運営計画

オ 横浜市重要施策に対する取組

キ 本市重要施策に対する取組

次に掲げる重要施策に取組み、横浜市の重要施策の効果的な実現を図ります。

項目	本市重要施策に対する取組
個人情報保護	「横浜市個人情報の保護に関する条例」に則り、館長を責任者として、施設で取り扱う個人情報を適正に管理します。法人としても、必要な事項を「個人情報の保護に関する規程」「個人情報取扱実施細則」等に定め、全職員に繰り返し周知徹底しています。
人権の尊重	横浜市中期4か年計画2018～2021に「誰もが自分らしく活躍できる社会の実現」とあります。法人としても地区センターをはじめ、老人福祉施設、小学校放課後キッズクラブの運営を通して、様々な方々の活動を支援しています。平成25年に障害者差別解消法が公布されて以来、特に「合理的配慮の提供」に努めています。
環境への配慮	Zero Carbon Yokohama に協力し、電力は再生可能エネルギー70%を導入しています。さらに「マイバッグ、マイボトルの利用」など3R夢行動を推進します。リサイクル教室など横浜市の環境教育出前講座を積極的に招聘し、地域の皆様と一緒に環境活動に取り組みます。
市内中小企業 優先発注	「横浜市中小企業振興基本条例」に則り、微力ながら市内経済の発展に寄与してまいります。横浜市商店街空き店舗活用アンテナショップ事業に取り組んだ経緯もあり、消耗品等は地元商店街での購入に努めます。さらに施設管理業務(清掃業務、消防用設備点検等々)については、当法人が所管する近隣地区センターの管理業務に実績のある横浜市内の業者に発注しております。
防災・減災	日頃より地域防災拠点である幸ヶ谷小学校と防災訓練を含む災害防止のための連携を図ります。万が一に備えてアルミブランケット 70 枚、簡易トイレ 70 個、ビスケット 70 缶、水(500ml×100本)を備蓄し、帰宅困難者及び法人職員への対応とします。
読書の活動 普及と推進	平成26年に策定された横浜市民読書活動推進計画により、これまでも所管する施設について貸出冊数を増やしてきました。(4冊から6冊、また年末年始休館時には12冊など)さらに現在では、当法人が所管する複数施設において、他施設からの貸出図書の返却を受け付ける「図書どこでも返却サービス」を始めており、利用者の利便性を高めています。
子育て支援	法人が託児サポーターを養成しており、自主事業全てに託児サービスを付けるとともに「預かりサービス」を館内で実施でき、ママ・パパたちのリフレッシュタイムを提供します。
神奈川区魅力 アップ	旧東海道神奈川宿など神奈川区の歴史、魅力をPRする事業を開催します。神奈川区区民活動支援センターによる施設間連携事業(「宿場まつり」事業)への協力、法人所管全施設あがりの「わが町かながわマナー違反一掃作戦」への参加など、他施設や団体とも協調して神奈川区を盛り立てます。
関係法令の 遵守	以上幸ヶ谷公園コミュニティハウスの管理運営にあたり、地方自治法・地区センター条例その他労働関係法令や環境法令等を遵守し、適正な施設運営に努めてまいります。

(5) 自主事業計画

当法人の実績、経験とスケールメリットを活かした自主事業を開催します。

- こどもログハウスから老人福祉センターまでの施設を運営し、幅広い世代、嗜好、テーマを対象とした事業を開催してきた強みがあります。さらに近隣施設との交流により、幅広い講師の手配を可能としてきました。
- 地元の特性やニーズを踏まえながら、これまでの実績を活用し、スピーディーに自主事業開催が可能です。
- 近隣施設との共同・連続開催となる事業も実施していますので、人々のつながりをより大きな輪へ広げます。また日頃の活動成果を神奈川公会堂で発表する機会を提供できるのも大きな強みです。
- 「宿場まつり」や区民活動支援センターの連携事業への参加、近隣ケアプラザなど福祉関連施設との事業協力により、施設間連携にも取り組み、地域の皆様へ多方面からの支援を実現します。
- 自主事業の広報PRについては、法人をあげて行いますので、より大きな集客が見込めます。万が一、参加者の少ない事業がありましたら、近隣施設の利用者からも参加者を募ることで開催の実現へつなげることが可能となります。

現在、利用できる少ない部屋数ですが、その部屋の特性に沿って開催します。

- 乳幼児親子でも参加しやすいよう自主事業には託児サービスを付帯します。子育て支援をテーマとした事業を充実させます。
- 幸ヶ谷公園と一体となった事業を地域連携事業として展開します。(第三者評価機関からの参考意見より) 桜の名所で有名な幸ヶ谷公園でしたが、老木化したソメイヨシノ44本が伐採され、今では新種のジンダイアケボノ20本が植栽され、春には濃いピンク色の花を咲かせます。幸ヶ谷公園の見通しの向上や虫害の減少の利点等を「桜まつり」で紹介することで、来館者の桜への想いをつなぐよう努めてまいります。

【テーマ別自主事業一覧】

<p>地域連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0602 イベント ・春休みイベント「七福館めぐり」 ・桜まつり ・宿場まつりウォーキング 	<p>地域を知る幸ヶ谷青木学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川山城探訪 ・鉄道開通150周年にあたり
<p>青少年健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生のためのプログラミング ・小学生のための囲碁将棋教室 	<p>人生百年チャレンジ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国語講座 ・ペン習字 ・大人の読み聞かせ ・新しい生活様式と軽体操
<p>子育て・女性支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 ・働きたい女性応援セミナー ・地域で非常時に備える ・リトミック 	

(6) 施設及び設備の維持管理計画

指定管理業務仕様書、及び法令に基づき、専門業者による施設の維持管理、及び保守点検に加え、職員の日常的なこまめな巡視点検・清掃・修繕等により、施設の長寿命化を図ります。利用者と一体となって、安全な利用環境の維持と美化、省エネルギー、省資源の実現に努め、年間5万人近くの来館者の安全安心と快適な空間の確保をお約束いたします。

維持管理計画の具体的な取組

【予防保全】

不具合を未然に防止するために、職員による日常的でこまめな点検を実施します。点検項目で定められたものにとどまらず、利用者や地域からの些細な情報にも注意を払います。横浜市が開催する公共建築物保全研修に職員が積極的に参加し、わずかな兆候にも気づくようスキルアップに努めます。また法人が所管する他施設での情報や経験を活かし、不具合発生を予測して事前に部品交換等の対策を実施します。

【定期点検】

施設点検日(休館日)を従来通りの第3火曜日とし、清掃や保守点検日に充てます。点検作業は右の表にあるものを計画します。各種点検の結果、指摘事項がある場合、軽微な不具合は職員が迅速に補修、修繕を行い重篤な事態となることを防ぎます。高額修繕が想定される場合は、速やかに技術相談票を横浜市へ提出します。設備の状況については、施設管理者点検表にて報告いたします。

管理業務一覧	頻度、内容
定期清掃	隔月、床清掃やワックス掛け、ガラス清掃等
日常清掃	週3日
空調機保守点検	GHP保守点検(随時)
消防点検	年2回実施
自動ドア保守点検	年4回メーカー保守実施
機械警備	閉館時に毎日実施
飲料水水質検査	年1回実施

【清掃の徹底】

いつまでも清潔で快適な施設の状態を維持するには、徹底的な日常清掃が必要です。清掃従事者を含め、職員全員で日常清掃を行い、隅々までピカピカの幸ヶ谷公園コミュニティハウスにします。特にトイレ、ロビーは徹底的に清掃します。清掃時には、シックハウスの発生を抑えるため換気を徹底します。おはなしの部屋のおもちゃも週に1回消毒します(コロナウイルス禍において、部屋の利用中止)。冬場はノロウイルス対策として、毎日手すりやドアノブを消毒し、安全な施設を維持します。年末には利用者団体の交流を目的に大掃除を実施します。

【外構・植栽】

外構の点検は、職員の巡回により1日3回実施し、状態を確認します。不具合や危険箇所を発見した場合、軽微なものは職員が対応し、その他は直ちに業者等に連絡して必要な措置を取ります。植栽は、周辺の除草等は職員が行い、高木剪定は適宜専門業者により対応します。

【保安警備】

開館中は職員が1日3回、館内外を見回り、閉館後は機械警備による保安を行います

(7) 収支計画(収入計画)

ア 収入計画の考え方について

イ 増収策について(※利用料金収入は、地区センターのみ該当)

ア 収入計画の考え方について

【基本的な考え方】

幸ヶ谷公園コミュニティハウスは無料施設であり、人件費をはじめ諸経費の増加や施設の老朽化などもあり、指定管理料としては指定額通りとします。収入としては自主事業収入・雑収入により算定します。

●指定管理料

収入額の98%超(平成30年度実績)となっています。無料施設である幸ヶ谷公園コミュニティハウスの管理運営は指定管理料によって賄われており、その減額は事業及び施設・設備管理に大きな影響を及ぼすことになります。

●自主事業収入

自主事業は、必要経費として参加費をいただくことにより、質・量ともに充実した内容とすることができます。しかしながら2部屋(研修室・おはなしの部屋)しかない状況での自主事業の開催は限界がありますが、魅力的な継続性のある自主事業、また託児付の自主事業を企画立案し、参加費の増額に努めます。

●雑収入

自動販売機手数料及び印刷代によるもので、それらの増収に努めてまいります。

・自動販売機は施設外に設置されているので、幸ヶ谷公園の利用者にも供することができることから、高いマージンの業者の選定に努めます。

・印刷代については、近隣の自治会等の配布資料や掲示物の印刷に協力することで、増収を図ります。

【収入増加のために】

利用者が増加することが収入増加につながるため、利用者の増加に努めます。

・プロジェクター、電子ピアノ、CDラジカセ、ヨガマットなど利用者の要望を踏まえた備品類の整備を行います。

・利用者サービス向上を図るために、利用者専用ロッカー、貸出用・利用者用のノート型パソコンを設置します。

・長年にわたる神奈川区内での施設運営実績により、自販機メーカーから協賛品も多いことから、イベント時の入館者数増が図れ、その後のリピーターを増やすことができます。

・その他協賛金や寄付金についても、NPO法人の特長を生かして、日本NPOセンターのテックスーパージャパンからパソコン本体やソフト類の支援をいただいております。(およそ20万円相当)

項目	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
利用人数(人)	45,790	46,290	46,790	47,290	47,790
蔵書数(冊)	27,520	27,620	27,720	27,820	28,920
年間貸出冊数(冊)	20,800	20,950	21,100	21,250	21,400
自主事業収入(千円)	615	615	615	615	615
自販機収入(千円)	130	145	160	175	190
他雑収入(千円)	20	21	22	23	24
事後グループの団体数	2	2	3	3	4

(7) 収支計画(支出計画)

ウ 支出計画の考え方について

ウ 支出計画の考え方について

【基本的な考え方】

法人の「経理規程」に基づき、最小の経費でその目的を達成し、その効果を発揮するよう努めます。そして「すべては幸ヶ谷公園コミュニティハウスと施設利用者の方々のために支出する」という基本的な考え方の下に支出計画を策定します。また施設の運営水準を常に高いレベルに保つために、人件費の適正化と職員の資質向上に努めます。

最大の強みは、神奈川区内に法人本部と所管する施設が14施設存在し、神奈川区在住の職員が160名以上いるというスケールメリットを、幸ヶ谷公園コミュニティハウスの運営にも活かせるということです。

具体案

【人件費】

・法人の給与基準及び就業規則に基づき積算し、さらに「指定管理者制度における賃金水準スライド」を踏まえ算定します。さらに職員は施設の近隣地域からの採用を基本とし、通勤手当の削減を図ります。

【管理費 A 水道光熱水費】

・利用者サービスに支障のない範囲で節減に努めます。電気については、再生可能エネルギーにかえています。

【管理費 B 清掃・衛生・設備管理】

・適切な清掃や専門業者による点検を行い、不具合の早期発見に努め、早期修繕と計画的な更新を行います。

【事務費】

・NPO法人の強みを活かし、日本NPO法人センターによるIT関連の備品・ソフト等の寄贈を受けています。

これまでもパソコン、ソフトを購入することができ、備品費は20万円ほど削減できています。

・消耗品費、備品費は法人での一括購入も含め、施設間での情報交換を密に行い、不用品の施設間利用や、近隣施設間の融通により、備品の購入費を節減しています。

・手数料は法人全体で業者と契約し、近隣の複数施設の粗大ごみを一括処理、コストを削減しています。

・地域の事情に精通し、様々なノウハウを持つ職員により、自主事業と研修の講師が可能です。

経費節減及び効率化

・不用品情報交換コーナー(あげます譲ります)の設置、また図書・玩具・備品などの寄贈受入などにより、地域のリユース活動の中心を担います。

・ごみの持ち帰り運動&事業系ごみの分別の徹底により、利用者、地域と一体となり横浜3R夢を推進します。

・節約(もったいない)運動として裏書の徹底使用、両面印刷、封筒の再利用など、消耗品費を削減しています。

・高額な修繕、備品については相見積もりを徹底します。

・日常業務のムリ・ムダ・ムラを無くし、生じた時間と財源を、サービス向上や職員の資質向上に振り向けます。

以上、次期5か年の収支計画はこれまでの経験とスキルを基に算定し、区の指定上限額で提案します。

これまでに法人では業務見直し、サービス向上、職員業務体制の見直し等のプロジェクトを組み、サービス向上、経費削減に日々努力を重ねてきました。今後も理事会と一体となって、館長会議や施設委員会での意見交換を通して課題解決に取り組む、より一層高い水準の施設運営に努めてまいります。そして、地域の資源・人材のネットワークを活かし、今後も継続して幸ヶ谷公園コミュニティハウスをはじめとする区民利用施設を運営管理し、地域社会の発展と活性化を目指して「地域による地域のための地域起こし」に積極的に貢献してまいります。

(8) 新型コロナウイルス感染症等に係る対応

具体的な新型コロナウイルス感染防止対策

【ガイドラインに沿った安全安心な施設運営に努めます】

●感染対策の基本

・各部屋では常時窓を開け、換気に努めています。また部屋の面積でガイドラインに記載されている間隔を空けての人数を割り出しています。特に図書コーナーにおいては、滞在時間に制限を設けるなど、3密（密閉・密集・密接）を回避します。



- ・各所に手指消毒液を設置します。
- ・咳エチケット（マスク・フェイスシールド等の着用）、手洗いの励行をします。

●施設の清掃・消毒

- ・複数の人の手が触れる場所や、利用後の各室は（机、椅子、ドアノブ、内線電話機等）職員がアルコールで消毒します。



【新型コロナウイルス感染防止対策実績】

●令和2年12月から令和3年2月まで、横浜市緊急雇用創出事業において検温・消毒スタッフをアルバイト雇用することができました。その間、特に来館者にとって安全で安心な施設として喜ばれました。



- 利用者の体調確認と連絡先等の把握に努めました。
- 受付カウンターに透明ビニールカーテンを設置し職員と来館者の飛沫感染を予防しました。
- 床に1m間隔の目印表示・座席の工夫により身体的距離の確保を実施しました。
- 貸出し物品の消毒を徹底、消毒が困難なものについては貸出しを中止し自前の持ち込みをお願いしました。
- 在宅での読書時間を楽しんでいただけるようニーズに応えた新着図書を増やし2週間8冊までの図書が借りられるようにしました。

自主事業開催の工夫について

- 参加人数の制限、参加者の体調確認と検温、マスク着用の協力をお願いします。
- 自主事業開催前後に感染防止の注意喚起をします。
- 利用制限の範囲内で自主事業を開催し、それが困難な自主事業については開催を見合わせます。
- オンライン講座を実施し在宅でも楽しく参加、交流ができる自主事業を企画します。
- 幸ヶ谷公園を利用し自主事業（軽体操）を屋外で開催する日を設けます。

感染防止の観点を踏まえた予約受付

- すでに2ヶ月前仮予約（バリアフリー予約が可能）を行ってきているので、受付時の密は避けられています。今後はさらにWeb予約も可能とし感染防止はもちろんのこと、サービス向上に努めます。
- ガイドラインに応じた予約受付ができるよう、従来の2ヶ月前仮予約を1ヶ月前仮予約にします。

横浜市幸ヶ谷公園コミュニティハウス自主事業計画書

団体名 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
①0602イベント	一般						
	50人						
	1回 無料	14,000	14,000	0	0	10,000	4,000
②七福館めぐり	一般						
	50人						
	1回 無料	14,000	14,000	0	0	10,000	4,000
③桜まつり	一般						
	50人						
	1回 無料	14,000	14,000	0	0	10,000	4,000
④宿場まつりウォーキング	一般						
	50人						
	1回 無料	5,000	5,000	0	0	5,000	0
⑤小学生のプログラミング	小学生						
	10人						
	6回 4800円	46,000	-2,000	48,000	36,000	0	10,000
⑥小学生の囲碁将棋教室	小学生						
	10人						
	500円	10,000	5,000	5,000	10,000	0	0
⑦おはなし会	成人						
	5組						
	24回 無料	48,000	48,000	0	48,000	0	0
⑧保育園を知る	幼児親子						
	5組						
	1回 600円	15,000	12,000	3,000	5,000	0	10,000
⑨地域で非常時に備える	一般						
	10名						
	1回 500円	18,000	13,000	5,000	8,000	0	10,000
⑩リトミック	乳幼児親子						
	5組						
	4回 2000円	24,000	-16,000	40,000	24,000		
⑪神奈川山城探訪	一般						
	10名						
	2回 2000円	20,000	0	20,000	14,000	0	6,000
⑫鉄道開通150周年にあたり	一般						
	10名						
	2回 2000円	20,000	0	20,000	14,000	0	6,000
合計		248,000	107,000	141,000	159,000	35,000	54,000

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市幸ヶ谷公園コミュニティハウス自主事業計画書

団体名 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
⑬中国語講座 12回	成人						
	10人						
	9600円	94,000	-2,000	96,000	84,000	0	10,000
⑭ペン字 12回	成人						
	10人						
	9600円	94,000	-2,000	96,000	84,000	0	10,000
⑮大人の読み聞かせ 6回	成人						
	10人						
	3000円	36,000	6,000	30,000	36,000	0	0
⑯新しい生活様式と軽体操 20回	成人						
	10人						
	1回3000円	100,000	40,000	60,000	100,000	0	0
小計		324,000	42,000	282,000	304,000	0	20,000
合計		572,000	149,000	423,000	463,000	35,000	74,000

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市幸ヶ谷公園コミュニティハウス自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【地域連携講座】 ①0602イベント	<p>目的</p> <p>開港記念日の6月2日は法人所管の施設は午前9時から午後3時まで子どもたちに開放する一日です。もちろん子どもだけではなく、老若男女の皆さんに施設を開放する法人最大級のイベントです。</p> <p>内容</p> <p>幸ヶ谷公園を利用して「宝物さがし」をします。桜の木や花壇の花々を観察することで、新発見があるかもしれません。それぞれがコースターに絵をかいて宝物を作ります。</p>	6月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【地域連携講座】 ②七福館めぐり	<p>目的・内容</p> <p>神奈川県には七福神がありません。七福神に見立てた指定管理者施設と連携し、スタンプラリーを開催します。春休みに家族や友人と、7館を巡りながら、神奈川県について理解を深めます。</p>	春休み 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【地域連携講座】 ③桜まつり	<p>目的・内容</p> <p>幸ヶ谷公園は桜の名所です。お花見の時期に合わせて幸ヶ谷公園コミュニティハウスでも利用者団体の発表会を開催します。力作が並びます。最終日の日曜日には歌あり、演奏あり、賑やかに桜を彩ります。</p>	4月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【地域連携講座】 ④宿場まつりウォーキング	<p>目的・内容</p> <p>近隣の施設と連携し、宿場まつりを開催します。区社協・ケアプラザとも連携しスタンプラリーを行います。</p>	2月 1回

横浜市幸ヶ谷公園コミュニティハウス自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【青少年健全育成講座】 ⑤小学生のためのプログラミング講座	目的・内容 小学生対象のプログラミング講座です。小学校の授業でもあるプログラミングの理解を深めます。論理的な志向をすることの訓練にもなります。	夏休み

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【青少年健全育成講座】 ⑥小学生のための囲碁将棋教室	目的・内容 地域の囲碁・将棋の名人が子どもたちに囲碁・将棋の楽しさや面白さを伝え、異世代交流を図ります。幼稚園児から小学生まで、幅広いレベルに合わせて楽しみます。	冬休み

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【子育て・女性支援講座】 ⑦おはなし会	目的・内容 開館当時からの人気の講座です。「絵本の読み聞かせボランティア」の協力を得て、親子で楽しいひと時をすごします。紙芝居あり、手遊びあり、親子体操あり、と毎月2回火曜日は幸ヶ谷公園コミュニティハウスに集合します。	通年 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て・女性支援講座】 ⑧保活（保育園を知る）	目的・内容 保育園に初めて子どもを預ける保護者対象の講座です。また子どもを保育園に預けて仕事を再開することを希望している方にも朗報です。疑問に思うことや不安に思うことを解決できます。（託児付）	8月 1回

横浜市幸ヶ谷公園コミュニティハウス自主事業別計画書(単表)

団体名 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【子育て・女性支援講座】 ⑨地域で非常時に備える (子連れ避難)	目的・内容 災害時避難場所に子連れで避難することは大変困難なことです。何を準備し、何を持って避難するのか、事前に知っておくことが大切です。チェックリストを作成し、事前に準備しておきましょう。「共助」「助け合い」がいざという時の命綱になります。地域の方々と顔の見える関係を作るためにも開講します。	9月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【子育て・女性支援講座】 ⑩リトミック	目的・内容 音楽を聴き、その音を楽しみ、即座に体や楽器を使って表現するのがリトミックです。手や足踏み、おなかを叩いたり、楽器を使ってみたり。ペットボトルに鈴を入れたオリジナルの楽器など自由に使っていきます。乳幼児親子で参加し、ママのストレス解消にもなります。	10月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【地域を知る幸ヶ谷青木学】 ⑪神奈川山城探訪	目的・内容 山城ガールを講師に近隣の山城を巡ります。幸ヶ谷公園コミュニティハウスは権現山城に立地していますが、知らないことばかりです。線路を挟んで青木城がありますし、港北区には小机城があります。当時に思いを馳せながら歩いて山城を巡ります。	11月 2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【地域を知る幸ヶ谷青木学】 ⑫鉄道開通150周年にあたり	目的・内容 1872年に新橋横浜間に鉄道が敷かれました。その鉄道開通に当たり、高島嘉右衛門が横浜港の埋め立て(野毛～青木町)に尽力しました。その功績により「高島町」「高島台」の名が残っています。高島嘉右衛門の功績を学び、初代・2代・現在の横浜駅を歩いてみます。	1月 2回

横浜市幸ヶ谷公園コミュニティハウス自主事業別計画書（単表）

団体名 特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【人生百年 チャレンジ講 座】 ⑬中国語講座	<p>目的・内容</p> <p>外国語を学びたいという要望がアンケートに寄せられました。近い国の言葉である中国語を中国人留学生を講師に学びます。基本的な日常会話が話せるように学習します。これからも多くの観光客が中国から来られます。また横浜市には中華街もありますので、すぐに話したくなります。</p> <p>事後グループとして活動を継続</p>	<p>10月～12月 毎週1回 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【人生百年 チャレンジ講 座】 ⑭ペン習字	<p>目的・内容</p> <p>硬筆書写技能検定合格を目指す講座です。いつの時代でもきれいに書かれた手書きの文字は素敵です。デジタル化された今でも、手書きで書くシーンがたくさんあります。今こそきれいな字が書けるよう、応援する講座です。</p> <p>事後グループとして活動を継続</p>	<p>5月～9月 隔週 12回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【人生百年 チャレンジ講 座】 ⑮大人の読みき かせ	<p>目的・内容</p> <p>朗読のノウハウを身につけていきます。声を出して本を読むことで、のどが鍛えられ、より健康的な生活を送る手助けをします。音読を通して読書好きの仲間が増え、好きな本を紹介し合うことで、読書を通じた交流を広げます。さらに所管施設で「読み聞かせボランティア」として活躍の場も広がります。</p>	<p>10月～11月 6回</p>

事業名	目的・内容	実施時期・回数
【人生百年 チャレンジ講 座】 ⑯新しい生活様 式と軽体操	<p>目的・内容</p> <p>ステイホームでも、いつまでも若々しく健康でいたいものです。軽体操をすることで、「認知症予防」「記憶力の維持と向上」「注意力・判断力・集中力」を高めることができます。またペアになって体操をすることでコミュニケーション能力も高まります。お天気の良い日は幸ヶ谷公園で気持ちよく体を動かします。</p>	<p>毎月2回土曜日 20回</p>

単独団体名	特定非営利活動法人 こらぼネット・かながわ
施設名	横浜市幸ヶ谷公園コミュニティハウス

令和4年度収支予算書(兼指定管理料提案書)

I. 指定管理料

(単位：千円)

提案額 (a)	24,038	指定管理料＝小計【イ】を記入 ※区指定上限額 (b) の範囲内で提案してください。
※区指定上限額 (b)	24,038	
差引 (a) - (b)	0	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	100.0%	

II. 令和4年度収支予算書(総括表)

1 収入の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
自主事業収入 [A]	423	
雑入 [B]	150	印刷代、自販機手数料及び電気料
小計 【ア】 ([A]~[B])	573	施設運営収入の計
指定管理料 [C]	24,038	【ウ】 - 【ア】
小計 【イ】 ([C])	24,038	指定管理料
収入合計 ([ア] + 【イ])	24,611	

2 支出の部

項目	合計金額 (単位：千円)	備考
人件費 [a]	15,356	
事務費 [b]	2,020	
自主事業費 [c]	572	
管理費 A (光熱水費等) [d]	1,500	
管理費 B (保守管理費等) [e]	2,063	
公租公課 [f]	1,800	
事務経費 [g]	1,300	
支出合計 【ウ】 ([a] ~ [g])	24,611	

※金額は、消費税及び地方消費税(10%)込みの額を記載してください。

単独団体名	特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ
施設名	横浜市幸ヶ谷公園コミュニティハウス

令和4年度収支予算書

1 収入の部内訳 (指定管理料除く)

(単位:千円)

	項 目	内 容 等	金 額	
自主事業収入	参加費	様式3参照	ア 423	
			イ	
			ウ	
			エ	
			オ	
		小 計		[A] 423
雑入	印刷代		カ 20	
	自動販売機手数料		キ 130	
			ク	
			ケ	
			コ	
			サ	
		小 計		[B] 150
小 計 【ア】		施設運営収入計	573	[A]~[B]

※金額は、消費税及び地方消費税(10%)込みの額を記載してください。

単独団体名	特定非営利活動法人こらぼネット・かながわ
施設名	横浜市幸ヶ谷公園コミュニティハウス

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳（ニーズ対応費除く）

（単位：千円）

項目	内容等	金額		
人件費	正規雇用職員	正規雇用職員基礎単価×人数⇒賃金スライド提案書A×C	ア 11,829	
	臨時雇用職員	臨時雇用職員基礎単価×人数⇒賃金スライド提案書a×c	イ 3,000	
	対象外の人件費		ウ 527	ウ-1～ウ-4
	通勤手当		ウ-1 500	
	健康診断費		ウ-2 27	
	勤労者福祉共済掛金		ウ-3	
	退職給付引当金繰入額		ウ-4	
	小計		[a] 15,356	ア～ウ
事務費	旅費		エ 5	
	消耗品費		オ 400	
	会議贈い費		カ 20	
	印刷製本費		キ 20	
	通信費		ク 300	
	使用料及び賃借料		ケ 0	ケ-1～ケ-2
	横浜市への支払い分		ケ-1 0	
	その他		ケ-2 0	
	備品購入費		コ 200	
	図書購入費		サ 500	
	施設賠償責任保険		シ 10	
	職員等研修費		ス 10	
	振込手数料		セ 5	
	リース料		ソ 250	
	手数料		タ 300	
	地域協力費		チ 0	
			ツ	
			テ	
	小計		[b] 2,020	エ～テ
	自主事業費		[c] 572	
管理費A	電気料金		ト 800	
	ガス料金		ナ 500	
	上下水道料金		ニ 200	
	小計		[d] 1,500	ト～ニ
管理費B	清掃費		ヌ 1,000	
	修繕費		ネ 300	
	機械警備費		ノ 350	
	設備保全費		ハ 413	ハ-1～ハ-6
	空調衛生設備保守		ハ-1 50	
	消防設備保守		ハ-2 11	
	電気設備保守		ハ-3 85	
	害虫駆除清掃保守		ハ-4	
	駐車場設備保全費		ハ-5	
	その他保全費		ハ-6 267	
	共益費		ヒ	
		フ		
		ヘ		
小計		[e] 2,063	ヌ～ヘ	
公租公課	事業所税		ホ	
	消費税		マ 1,800	
	印紙税		ミ	
	その他（ ）		ム	
小計		[f] 1,800	ホ～ム	
事務経費	本部分		メ 1,300	
	当該施設分		モ	
	小計		[g] 1,300	メ～モ
小計【ウ】	施設管理運営経費計	24,611	[a]～[g]	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。